
Ness1000 シリーズ
ユーザーズマニュアル
(Ness1000/Ness1100/Ness1200)

第 1.16 版

2024/1/26



データで未来をつなぐ

変更履歴

版数	日付	内容
1.00	2016/11/28	初版
1.01	2016/12/01	「前面図」「HDD モジュールの交換方法」の画像修正 「設置場所の確認」の温度を(5~40℃)に訂正 「ドライブスロットLED」の表を改訂 「製品の特徴」の記載内容(高品質ストレージの搭載)を更新 「HDD モジュールの交換方法」として記載を変更 「マザーボードインターフェイス」のレイアウトを更新
1.02	2016/12/12	「自動起動の設定」Ness1000 の設定例を追加 「製品仕様」VCCI-a を追加
1.03	2017/03/16	起動メディアの設定を修正
1.04	2017/05/26	Copyright© 2016→ Copyright© 2017 「ミラーカード機能(RAID1)によるHDDデータの保護」説明訂正 「高品質ストレージの搭載」説明訂正 「ドライブスロット番号:左(スロット#1)、左(スロット#2)」誤記訂正 「起動メディアの設定」の修正 「製品仕様」にユーザ→ユーザー、消費電力を追加 「製品モデル」を「製品仕様」から分離 ドライブスロット番号変更:#1→#0, #2→#1 「電源ケーブルクランプ」注意事項追加 COMポート番号の説明追加
1.05	2017/08/25	「付録3.製品モデル」Windows Storage Server 2012 → Windows Storage Server 2012R2 Windows Storage Sever 2016 Workgroup モデル追加
1.06	2018/06/18	「内部アクセス」に関する記述の削除
1.07	2018/07/10	「マザーボードインターフェイス」より、表のGraphic項を改訂、Ness1000背面図およびNess1100背面図を改訂 「製品仕様」の表中、Graphicの項を改訂
1.08	2019/06/12	「Ness1000のCOM PortのBIOS設定」の追加
1.09	2019/06/25	「付録3.製品モデル」Windows Server 2016モデル追加
1.10	2019/08/26	「1-2.設置場所の確認」の「他の装置とのスペース」の修正
1.11	2020/07/07	Windows Server 2019の型番を追記
1.12	2020/11/06	ドライブスロットLEDの説明を追記、電源ケーブルクランプ説明変更; 2019モデルの型番の訂正
1.13	2021/01/12	「製品仕様」の外形寸法訂正: 154(W)×188(D)×270(H)mm → 154(W)×270(D)×188(H)mm
1.14	2021/09/13	Ness1100(型番:NESC***)の説明追加;セキュリティスロットの追加;型番変更
1.15	2023/12/08	Ness1200/Ness1000(Win Serer IoT 2022, Win10 IoT 2021)を追加
1.16	2024/01/26	Ness1200 Windows Server 2022 Standardモデル追加

はじめに

本書に含まれる内容は予告なく変更される場合があります。

株式会社ニューテックは、本書に記載された製品の適合性、暗黙の保証、運用における損害、及び、本書の使用に関連した損害について責任を負いかねます。また、本製品は、日本国外、軍事目的、原子力設備で使用されないことを前提としております。

株式会社ニューテックは、本書に記載された製品へ記録されたデータについて、その消失・誤記録における責任を負いかねます。

(データのバックアップは、システム管理者の責任において実施が必要です。)

本書は、著作権によって保護された情報を含んでおり、本書のいかなる部分も、株式会社ニューテックの書面による許可の無いまま、コピー、再版、他言語への翻訳を行ってはいけません。

株式会社ニューテック

〒105-0013

東京都港区浜松町 2 丁目 7-19 KDX 浜松町ビル

<https://www.newtech.co.jp>

Copyright© 2024 Newtech Co., Ltd. All rights reserved.

本書利用者の前提条件

本書は、コンピュータ装置の運用管理技術を有し、本書に記載された製品を利用するための、コンピュータ OS(基本ソフト)のインストール及びシステム変更の知識、及び、安全な運用や発生する問題を解決できる人を前提としています。

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただき、ケガや機器の障害を未然に防止するために、以下の注意事項を良くお読み下さい。

表示の意味



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重症を負う危険が切迫して生じる場合が想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。



この記号は、注意（警告を含む）をうながす内容があることを示します。具体的な注意喚起内容をこの記号の中や近くに絵や文章で示します。



この記号は、禁止（してはいけないこと）の行為であることを示します。具体的な禁止内容をこの記号の中や近くに絵や文章で示します。



この記号は、強制（必ずすること）の行為であることを示します。具体的な強制内容をこの記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告



禁止

本製品の分解、改造、修理をお客様ご自身で行わないで下さい。
本製品や火災や感電、故障の原因となります。



電源プラグを
コンセントから抜く

本製品やコンピュータ本体から煙が出たり異臭がしたりした場合は、直ちに電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いて下さい。
すぐに販売店または弊社サポート窓口までご連絡下さい。
そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。



禁止

本製品の内部に水などの液体や異物を入れないで下さい。
万一入った時は、すぐに電源ケーブルを抜いて販売店または弊社サポート窓口までご連絡下さい。



水場での
使用禁止

本製品は水を使う場所や湿気の多い所で使用しないで下さい。
火災や感電、故障の原因となります。

注意



禁止

本製品の上に乗ったり、物を乗せたりしないで下さい。
機器が故障や、倒れてケガの原因になります。



本製品に添付又はオプションのケーブル、コネクタ以外はご使用にならないで下さい。
火災や感電、故障の原因となります。



接触禁止

ぬれた手で電源プラグを触らないで下さい。
火災や感電、故障の原因となります。



禁止

電源プラグの端子にほこりや金属物が付着したままご使用にならないで下さい。
火災や感電、故障の原因となります。
万一付着している場合は、良く拭き取ってからご使用下さい。



アースを付ける

電源プラグはコンセントの奥まで確実に挿し、アースを取ってご使用下さい。
火災や感電、故障の原因となります。
※本製品ではアース付きの3端子タイプの電源プラグを使用していますが、一時的にアース線付きの3端子-2端子変換アダプタを使用する場合も必ずアース線を接続してご使用下さい。



リチウム電池の取り扱いについては、次のことを必ず守って下さい。
本装置の内蔵バッテリーには、リチウム電池が使われています。取り扱いを誤ると、発熱、破裂、発火などの危険があります。

- ・ 充電、電極除去、分解をしない
- ・ 加熱、焼却をしない。
- ・ 電池は水にぬらさない
- ・ 子供が飲み込んだりしないように、十分注意する
- ・ リチウム電池を廃棄する場合は、地方自治体の条例、または規制に従ってください。
- ・ バッテリーの極性（+、-）を正しく取り付けること。間違えると発熱、破裂、発火などの危険があります。

目次

はじめに.....	1
本書利用者の前提条件.....	1
安全にお使いいただくために.....	2
目次.....	4
1. 新規導入.....	5
1-1. 梱包品の内容確認.....	5
1-2. 設置場所の確認.....	5
1-3. 製品の特徴.....	6
1-4. システムインターフェイス.....	7
1-4-1. フロントサイド（前面）.....	7
1-4-2. HDD モジュールの交換方法.....	8
1-4-3. バックサイド（背面）.....	9
1-4-3-1 背面冷却ファンと電源.....	9
1-4-3-2 電源ケーブルクランプ.....	9
1-4-3-3 マザーボードインターフェイス.....	11
1-4-4. Ness1000 の COM Port の BIOS 設定.....	14
1-4-5. 起動メディアの設定.....	14
1-4-6. 自動起動の設定.....	15
1-5. 電源ケーブルの接続時の注意.....	16
付録 1. 製品仕様.....	17
付録 2. 消費電力/発熱量.....	19
付録 3. 製品モデル.....	20

1. 新規導入





製品の梱包を開けてから設置までの手順について記載します。なお、この章には本装置の基本的な操作方法も記載しておりますので、運用を開始される前に必ずお読み下さい。

1-1. 梱包品の内容確認

梱包品一式が揃っていることをご確認下さい。万一、不足品があった場合、速やかにお買い上げの販売会社までご連絡下さい。

1-2. 設置場所の確認

本装置を設置する場所については、以下の点にご注意して下さい。

 禁止	<p>ホコリの多い場所、湿気の多い場所には置かない 換気扇の近くなどホコリの多い場所、加湿器の近くや水仕事の作業場などには設置しないで下さい。また、工場など空気中に油分やその他微粒子がある環境での設置もできません。このような環境に設置される場合は、防塵・防油の密閉型ラックキャビネットをご使用されることをお奨めします。</p>
 禁止	<p>振動のある場所 机上でも引き出しの開閉が頻繁に行われる場所や、振動を起こしている機器の近くには設置しないで下さい。</p>
 禁止	<p>高温・低温になる場所 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くなどには設置せず、周囲温度がなるべく常温(10~40℃)の場所に設置して下さい。夜間・休日などエアコンが停止するオフィスなどの環境では、24時間連続稼働システムの運用は避けて下さい。これは、夏場エアコンの停止する休日に24時間連続稼働システムのトラブルが多く報告されており、後の調査で、その環境が45℃を超える事例もあったためです。また、サーバールームを設けていても、エアコンが集中管理されている場合は、オフィスと連動しているため、冬場は冷房に設定できない場合もあります。したがって、サーバールームのエアコンに、必ず独立稼働できるタイプを設置して下さい。</p>
 注意	<p>他の装置とのスペース 本体には温度上昇を防ぐための通風孔があります。通風孔部分およびケーブル接続部分を確保するために、前面側10cm、側面通風孔側5cm、背面側20cm以上離して設置してください。 実装されるキャビネットは、本装置の運用の際にはエアフローなどの点において十分冷却能力のあるタイプを選択して下さい。</p>

1-3. 製品の特徴

ミラーカード機能(RAID1)による HDD データの保護

弊社が産業機器向けに OEM 提供している高信頼性ハードウェアミラー・コントローラを搭載して、前面のドライブスロットのミラーリング機能を実現します。

高品質ストレージの搭載

ストレージ専門ベンダーであるニューテックでは、長年に亘る HDD の採用実績からより多くを学びノウハウを蓄積してきました。Ness1000 シリーズにも Cloudy シリーズをはじめとする他のニューテック製品と同様の検査が施された質の高い HDD を搭載してお客様にお届けします。

大口径ファンによる静穏化

冷却ファンは 8cm と大口径のもので、静音ながら冷却効果を高めています。

CPU 選択が可能なラインアップ

パフォーマンス重視のユーザーには新製品の Ness1200 (Alder Lake : Core i3)、Ness1100 (Skylake : Core i3) を、コスト重視のユーザーには Ness1000 (Braswell : Celeron) をご選択していただけます。

SSD からの OS 起動

データ保存用の HDD とは別に、OS メディアとして SSD を採用しています。パフォーマンス性能やメンテナンス性に優れています。

1-4. システムインターフェイス

1-4-1. フロントサイド（前面）

前面左に電源ボタン、右側に 3.5 インチ対応のドライブスロットがあります。

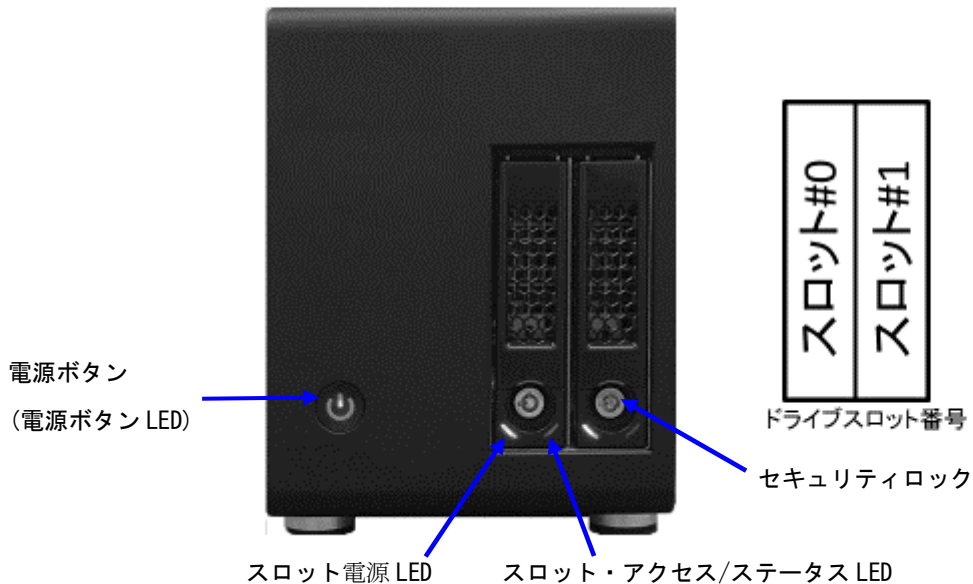


図 1 前面図

<電源ボタン>

電源ボタン：電源 ON もしくは OFF の際使います。電源 OFF の際メインパワーは落ちますが、スタンバイ電源は入ったままになります。機器が起動した状態で、電源ボタンを長押しすると機器の強制停止になります。

電源ボタン LED：電源が ON の場合は、青色の LED が点灯します。



<ドライブスロット>

ドライブスロット：3.5 インチのドライブスロットを 2 基搭載可能です。

ドライブスロット番号：左(スロット#0)、右(スロット#1)

セキュリティロックキー：ドライブスロット毎に鍵をかけることが可能です。

ドライブスロット LED：各ドライブのステータスを LED で状態を示します。

⚠️ 注意

サーバ稼働中に故障していないHDDを取り外さないでください。
データ損失やサーバが停止することがあります。

表 1 ドライブスロット LED

位置	LED	説明
左	電源(青)	青点灯：HDD に給電中 青消灯：HDD に給電なし
右	アクセス(緑)	緑点滅：HDD アクセス中 緑消灯：アクセスなし
	ステータス(赤)	赤点灯：HDD フェイルが存在しない 片方赤点滅(約 1 秒間隔)：リビルドモードのコピー先 HDD を示す 両方赤点滅(約 0.1 秒間隔)：システムホルト (*) 赤消灯：HDD 正常

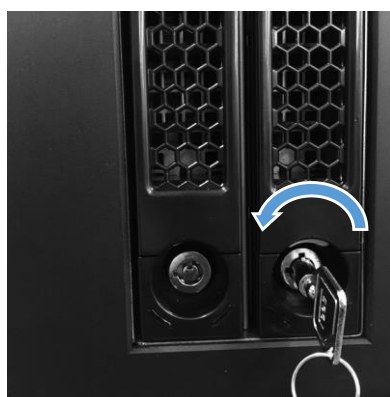
(*) システムホルト状態は、HDD ボリュームへアクセスできませんので、速やかに保守窓口または弊社サポート部門へご連絡ください。

1-4-2. HDD モジュールの交換方法

サーバ稼働中に HDD が故障した場合、HDD の活性交換（ホットスワップ）が可能です。

ミラーステータスの確認方法も併せて参照ください。

交換する HDD モジュールのロックキーを開錠します。HDD モジュールのリリース／ロックレバーが前に出てきます。リリース／ロックレバーを引くと、HDD モジュールが取り出せます。



矢印の方向へ90度回すと開錠します



HDDモジュールを取り出します

図 2 HDD モジュールの交換方法

1-4-3. バックサイド (背面)

1-4-3-1 背面冷却ファンと電源

製品背面には冷却ファンを搭載しています。

背面から見て左上側に電源インレットに電源ケーブルを接続することができます。

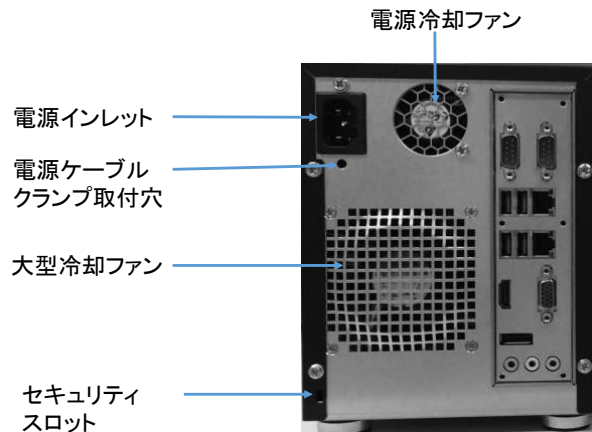


図 3 電源の差込口

1-4-3-2 電源ケーブルクランプ

電源ケーブルの抜け防止の為、電源ケーブルクランプを取り付けます。

※注意) 電源ケーブルクランプを一旦取り付けたら、取り外しできなくなります。

電源ケーブルクランプを下記画像のように組み立てます。(出荷時に装着済み)



クランプ部品はロック爪部を起こすことで
固定位置調整可能です。

図 4 電源ケーブルクランプ

クランプ部を電源ケーブルに巻きます。(※出荷時に装着済み)



クランプ取付け部
※電源ケーブルの束線は外さなくても取付け可能です。

図5 電源ケーブルクランプの取り付け

電源ケーブルコネクタを電源インレットに差し込みます。クランプ取付け部を背面の取付穴にカチッと音がするまで差し込みます。



取り付け位置

図6 電源ケーブルクランプ取付穴

1-4-3-3 マザーボードインターフェイス

マザーボードへのインターフェースは以下の通りです。

表 2 マザーボードインターフェイス

	Ness1000	Ness1100 (型番 : NESB***)	Ness1100 (型番 : NESC***)
LAN	2x 1Gb Eth		
USB	4x USB3.0		
Graphics	Intel HD Graphics	Intel HD Graphics 530	
	1x VGA	1x VGA、1x DP	1x DP、1x HDMI、1x DVI-I
Audio	1x Mic-In、1x Line-Out	1x Mic-In、1x Line-Out、 1x Line-In	1x Mic-In、1x Line-Out
COM	D-Sub 9Pin	D-Sub 9Pin	D-Sub 9Pin
	COM1 : RS-232	COM1 : RS-232/422/485	COM1 : RS-232
	COM2、COM3 : RS-232/422/485	COM2 : RS-232	COM2 : RS-232
PS/2	1x Keyboard、1x Mouse	-	

背面ポートの配置を下記に示します。

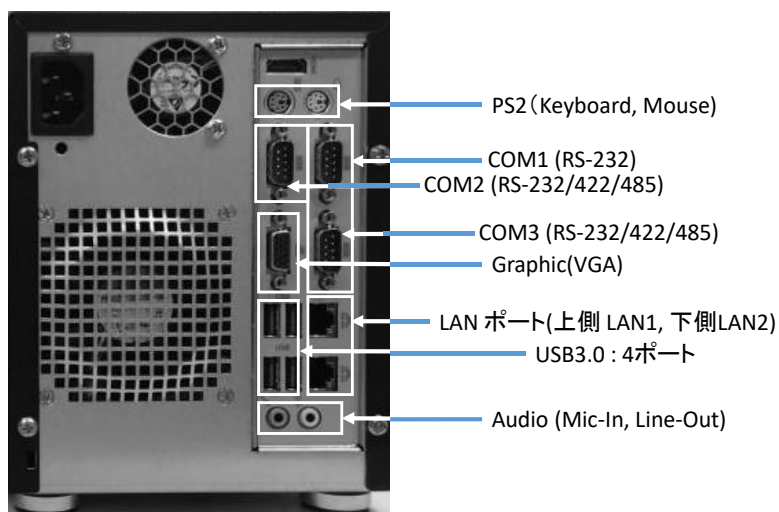


図 7 Ness1000 背面図

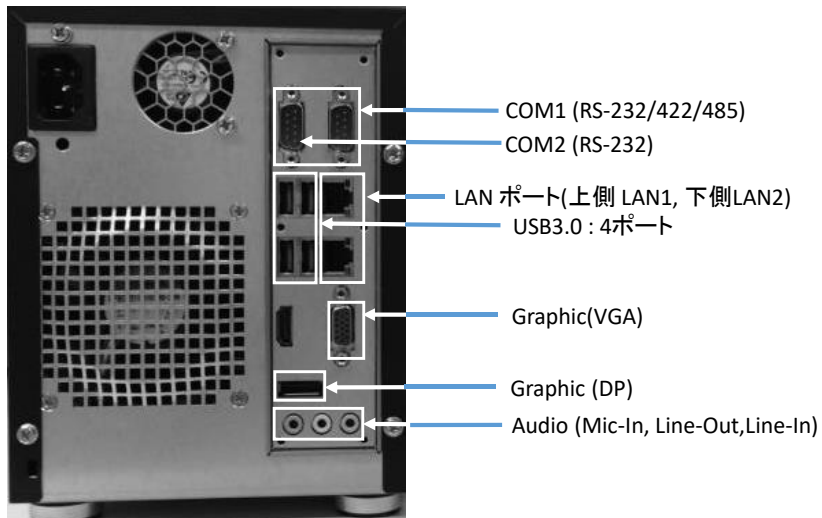


図 8 Ness1100 (型番 : NESB***) 背面図

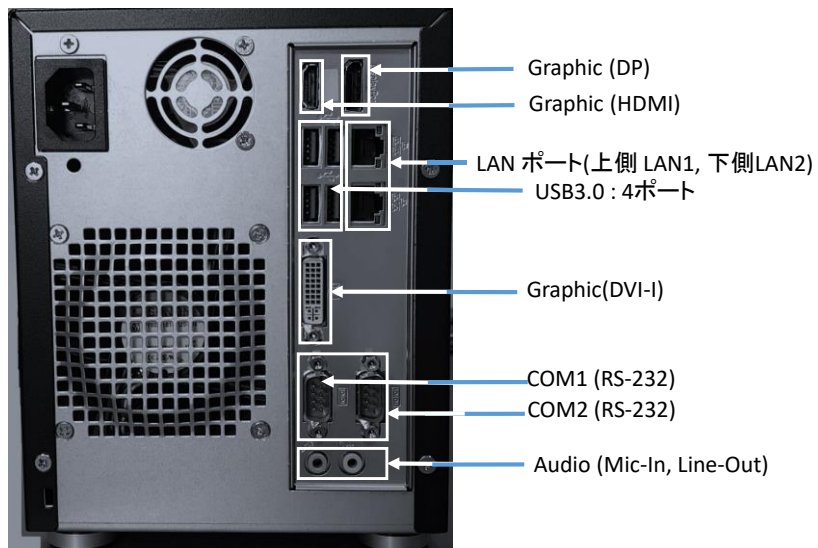


図 9 Ness1100 (型番 : NESB***) 背面図

表 3 Ness1200 マザーボードインターフェイス

	Ness1200
LAN	1×1Gbps, 1×2.5Gbps Eth
USB	4x USB2.0、1x USB3.2 Gen1、1x USB3.2 Gen2 (Type C)、2x USB3.2 Gen2
Graphics	3x DP, 1x HDMI
Audio	1x Audio Line Out / 1x Audio Line In
COM	D-Sub 9Pin
	1x COM (RS232 / 422 / 485)
PS/2	1×Keyboard、1×Mouse

背面ポートの配置を下記に示します。

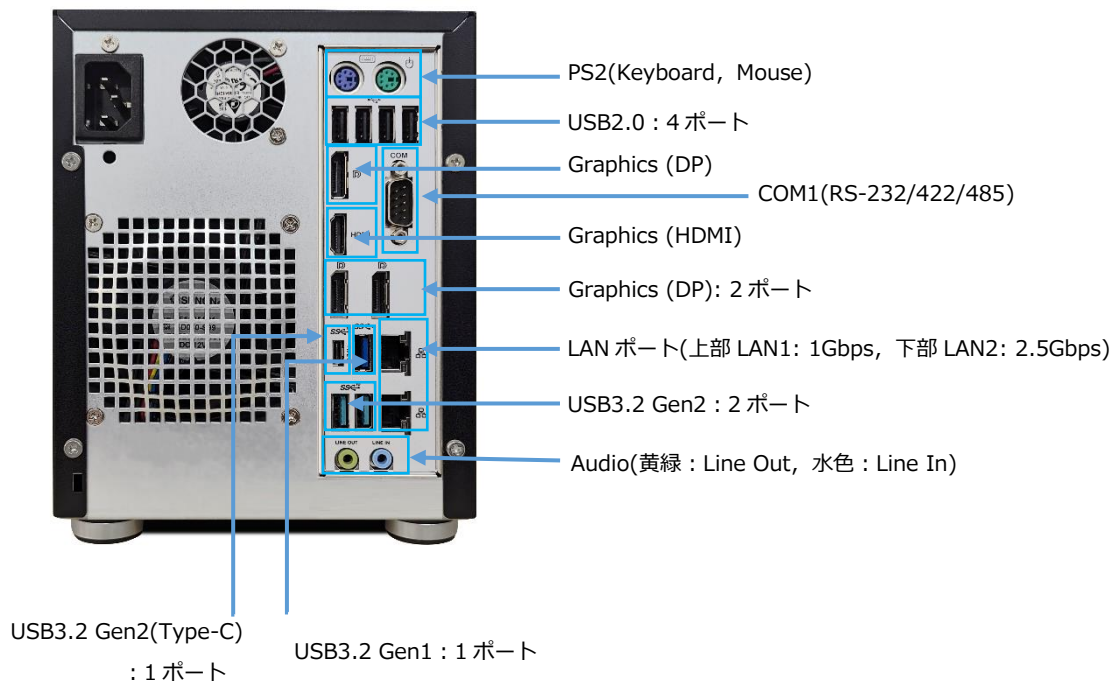


図 10 Ness1200 背面図

※ 以下の BIOS 設定は、設定変更後に、必ず[Exit] → [Save Changes and Exit]で設定を保存してください。

1-4-4. Ness1000 の COM Port の BIOS 設定

Ness1000 で **Linux OS** (CentOS, Ubuntu など) を使用する場合、COM Port の初期設定を変更する必要があります。

<Ness1000 OS ごとの COM Port の設定方法>

[Advanced] → [Super IO Configuration] → [COM Port IRQ Mode] を設定します。

Windows OS の場合 : Windows (初期設定)

Linux OS の場合 : Linux

※ 設定変更後、[Exit] → [Save Changes and Exit] で設定を保存してください。

※ COM Port IRQ Mode 設定項目は Ness1000 のみがあり、Ness1100、Ness1200 はありません。

1-4-5. 起動メディアの設定

OS リカバリ後など構成変更のため起動メディア設定が必要な場合に実施します。

<Ness1000 の起動メディアの設定例>

Ness1000 [DEL] キーを押下すると BIOS 画面を起動することができます。

[Boot] → [Boot Option #1] を設定します。

Windows OS mSATA ブートの場合 : mSATA デバイス/Windows Boot Manager ※

iX mSATA ブートの場合 : mSATA デバイス

<Ness1100 (型番 : NESB***) の起動メディアの設定例>

Ness1100 [DEL] キーを押下すると BIOS 画面を起動することができます。

[Boot] → [Boot Option #1] を設定します。

Windows OS mSATA ブートの場合 : mSATA デバイス/Windows Boot Manager ※

iX mSATA ブートの場合 : mSATA デバイス

<Ness1100 (型番 : NESB***) の起動メディアの設定例>

Ness1100 [DEL] キーを押下すると BIOS 画面を起動することができます。

[Boot] → [Dual Boot Order #1] を設定します。

Windows OS mSATA ブートの場合 : mSATA デバイス/Windows Boot Manager ※

iX mSATA ブートの場合 : mSATA デバイス

※Windows Boot Manager の表示がある場合は第一起動デバイスに[Windows Boot Manager]を設定します。

<Ness1200 の起動メディアの設定例>

Ness1200 [DEL] キーを押下すると BIOS 画面を起動することができます。

[Boot] → [Boot Option #1] を設定します。

Windows OS の場合 : Hard Disk : Windows Boot Manager

iX OS の場合 : Hard Disk デバイス

1-4-6. 自動起動の設定

電源供給が開始した際の Ness の動作を変更することができます。

デフォルトの設定では、フロントの電源ボタンを押下することで起動しますが、電源供給が開始されると自動起動するように設定することが可能です。

<Ness1000 の設定例>

起動時に [DEL] キーを押下すると設定画面を起動することができます。

“Restore on AC/Power Loss” を設定します。“Power OFF”, “Power On”, “Last State” が選択可能となりますが、自動起動するためには、“Power On” を選択します。

[Advanced] → [Chipset Configuration] → [Restore on AC/Power Loss] を “Power On” に設定してください。

<Ness1100 (型番 : NESB***) の設定例>

起動時に [DEL] キーを押下すると設定画面を起動することができます。

“Restore on AC/Power Loss” を設定します。“Power OFF”, “Power On” が選択可能となりますが、自動起動するためには、“Power On” を選択します。

[Advanced] → [ACPI Settings] → [Restore AC Power Loss] を “Power On” に設定してください。

<Ness1100 (型番 : NESB***) の設定例>

起動時に [DEL] キーを押下すると設定画面を起動することができます。

“Restore on AC Power Loss” を設定します。“Stay Off”, “Power On”, “Last State” が選択可能となりますが、自動起動するためには、“Power On” を選択します。

[Advanced] → [Boot Feature] → [Restore on AC Power Loss] を “Power On” に設定してください。

<Ness1200 の設定例>

起動時に [DEL] キーを押下すると設定画面を起動することができます。

“Restore AC Power Loss” を設定します。“S5 State”, “S0 State” が選択可能となりますが、自動起動するためには、“S0 State” を選択します。

[Advanced] → [APM Configuration] → [Restore AC Power Loss] を “S0 State” に設定してください。

1-5. 電源ケーブルの接続時の注意

電源ケーブルと接続電源の接続は下図の通りに行ってください。

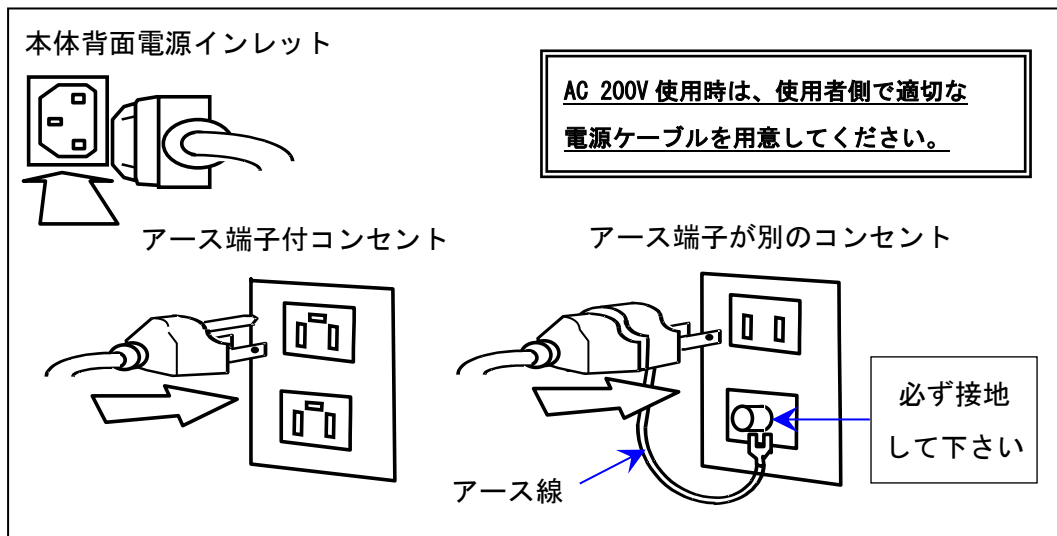


図9 電源ケーブル接続時の注意



アースを付ける

電源プラグはインレットの奥まで確実に挿し、アースを取ってご使用下さい。
火災や感電、故障の原因となります。

※本製品ではアース付きの3端子タイプの電源プラグを使用していますが、一時的にアース線付きの3端子-2端子変換アダプタを使用する場合も必ずアース線を接続してご使用下さい。



注意

- ・ 本製品に使用する電源ケーブルは、必ず製品添付もしくは指定の電源ケーブルをご使用ください
- ・ 電源ケーブルは本製品専用です。他の機器には転用しないで下さい。

付録 1. 製品仕様

表 4 製品仕様

モデル	Ness1000		Ness1100	Ness1200
形状	デスクトップ			
CPU	Intel Celeron クアッドコア (1.60GHz、4 コア/4 スレッド)		Intel Core i3-6100 (3.70 GHz、2 コア/4 スレッド)	Core i3-12100E(3.2/4.2GHz、 4 コア/8 スレッド)
メモリ	4GB: 1x DDR3L-1600 Non-ECC UDIMM(最大 16GB: 2x 8GB)		4GB: 1x DDR4-2133 Non-ECC UDIMM(最大 32GB: 2x 16GB)	8GB: 1x DDR5-4800 Non-ECC UDIMM(最大 64GB: 2x 32GB)
外部ポート	LAN	2x 1Gb Eth (Realtek)	2x 1Gb Eth (型番 NESB***:Intel I219LM + I211AT; 型番 NESC***: Intel I219LM +I210AT)	1 × 1Gbps Eth(Intel I210AT) 1 × 2.5Gbps Eth(Intel I225LM)
	USB	4x USB3.0		4x USB2.0、1x USB3.2 Gen1、 1x USB3.2 Gen2(Type C)、 2x USB3.2 Gen2
	Graphics	Intel HD Graphics	Intel HD Graphics 530	Intel UHD Graphics 730
		1x VGA	型番 NESB***: 1x VGA、1x DP 型番 NESC***: 1x DP、1x HDMI、 1x DVI-I	3x DP、1x HDMI
	Audio	1x Mic-In、1x Line-Out	型番 NESB***: 1x Mic-In、1x Line-Out、1x Line-In 型番 NESC***: 1x Mic-In、1x Line-Out	1x Audio Line Out、 1x Audio Line In
	COM	D-Sub 9Pin	D-Sub 9Pin	D-Sub 9Pin
		COM1: RS-232 COM2, COM3: RS-232 / 422 / 485	型番 NESB***: COM1: RS-232 / 422 / 485 型番 NESC***: COM1/2: RS-232	1x COM :RS-232 / 422 / 485
PS/2	1x Keyboard、1x Mouse	-	1x Keyboard、1x Mouse	
RAID レベル(データ領域)	RAID 1(NTC 製ハードウェア ミラーリング コントローラ)			
搭載ストレージ	OS 領域	1x 64GB m-SATA SSD		1x 128GB M.2 SATA SSD
	データ領域	2x 3.5in HDD SATAⅢ(6Gbps) 7200rpm		
	HDD 容量	2TB/4TB/8TB/12TB/16TB/20TB		2TB/4TB/8TB/16TB/20TB
HDD トレイ ロック	有(ロックキー付き)			
HDD ホット・スワップ	対応			
オート・リビルド機能	対応(HDD が活性交換されたら自動的にリビルド開始)			
エラー・リカバリー機能	対応(1 台の HDD に読み出しエラーがあったらもう 1 台から読み出しホストコンピューターに応答しエラーも修復)			
パトロール・リード機能	対応(HDD のアイドル時に HDD をスキャンしエラーを検出、自動修復)			
エラー・スキップ・リビルド機能	対応(リビルド時に読み出しのエラーがあってもシステム停止させない)			
エラー・ログ機能	対応(エラーログをコントローラ及び HDD に静的保存するので後で収集可能)			
監視アプリケーション	対応(HDD と RAID を監視して、温度や状態など異常を検出したら、ユーザーに通知)			
ケーブル抜け止め	AC 電源ケーブル			
セキュリティスロット	3.5mm × 7mm			
LED	システムパワー、HDD:電源/アクセス/ステータス			
冷却ファン	1x 8cm Fan			
定格電源	250W 内蔵シングル電源 AC 100~240V 50/60Hz			
消費電力	「付録 2」に記載			
動作環境 *1	温度:5~40℃、湿度:20~80%(結露なきこと)			
電源スイッチ	正面			
外形寸法	154 (W) × 270 (D) × 188 (H) mm(足、突起部含まず)			
重量	約 5.4kg	約 5.6kg	約 6.0kg	
標準添付品	AC 電源ケーブル × 1、LAN ケーブル × 1、HDD トレイ鍵 × 2、AC コード抜け止めクランプ × 1			
規格類	VCCI-A、RoHS 準拠			

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI - A

付録 2. 消費電力/発熱量

表 5 消費電力 / 発熱量 / エネルギー消費効率

モデル	Ness1000	
消費電力	起動時	79W/79VA
	運用時	42W/43VA
	アイドル	34W/35VA
発熱量	最大	284KJ/hr
エネルギー消費効率	I 区分適合 (*1) 1.0661	

モデル	Ness1100	
消費電力	起動時	93W/94VA
	運用時	68W/68VA
	アイドル	32W/33VA
発熱量	最大	335KJ/hr
エネルギー消費効率	I 区分適合 (*1) 0.1587	

モデル	Ness1200	
消費電力	起動時	158W/162VA
	運用時	88W/90VA
	アイドル	39W/41VA
発熱量	最大	569KJ/hr
エネルギー消費効率	区分 1 適合 (*2) 22.5	

*1 エネルギー消費効率とは、省エネルギー法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネルギー法で定める複合理論性能(ギガ演算)で除した数値です。(2011 年度基準)

*2 エネルギー消費効率とは、中央演算処理装置、補助記憶装置及び主記憶装置の消費電力あたりの性能を幾何平均して得られる数値です。(2021 年度基準)

付録 3. 製品モデル

表 6 製品モデル

Ness1000 Windows Storage Server 2016 Workgroup 搭載モデル

型番	容量
NEBBN002T02SANDW6W	2TB × 2
NEBBN004T02SANDW6W	4TB × 2
NEBBN008T02SANDW6W	8TB × 2
NEBBN010T02SANDW6W	10TB × 2
NEBBN016T02SANDW6W	16TB × 2

Ness1000 Windows Server IoT 2019 for Storage Workgroup 搭載モデル

型番	容量
NEBBN002T02SANDW9W	2TB × 2
NEBBN004T02SANDW9W	4TB × 2
NEBBN008T02SANDW9W	8TB × 2
NEBBN010T02SANDW9W	10TB × 2
NEBBN016T02SANDW9W	16TB × 2

Ness1000 Windows Server IoT 2022 for Storage Workgroup 搭載モデル

型番	容量
NEBBN002T02SANDW2W	2TB × 2
NEBBN004T02SANDW2W	4TB × 2
NEBBN008T02SANDW2W	8TB × 2
NEBBN016T02SANDW2W	16TB × 2
NEBBN020T02SANDW2W	20TB × 2

Ness1000 Windows 10 IoT Enterprise LTSC 2021 搭載モデル

型番	容量
NEBBN002T02SANDW1I	2TB × 2
NEBBN004T02SANDW1I	4TB × 2
NEBBN008T02SANDW1I	8TB × 2
NEBBN016T02SANDW1I	16TB × 2
NEBBN020T02SANDW1I	20TB × 2

Ness1000 iX 搭載モデル

型番	容量
NEBBN002T02SANDIX1	2TB × 2
NEBBN004T02SANDIX1	4TB × 2
NEBBN008T02SANDIX1	8TB × 2
NEBBN010T02SANDIX1	10TB × 2
NEBBN016T02SANDIX1	16TB × 2

Ness1100 Windows Storage Server 2016 Workgroup 搭載モデル

型番	容量
NESBN002T02SANDW6W NESCNO02T02SANDW6W	2TB × 2
NESBN004T02SANDW6W NESCNO04T02SANDW6W	4TB × 2
NESBN008T02SANDW6W NESCNO08T02SANDW6W	8TB × 2
NESBN010T02SANDW6W NESCNO10T02SANDW6W	10TB × 2
NESBN016T02SANDW6W NESCNO16T02SANDW6W	16TB × 2

Ness1100 Windows Server 2016 搭載モデル

型番	容量
NESCNO02T02SANDW6S	2TB × 2
NESCNO04T02SANDW6S	4TB × 2
NESCNO08T02SANDW6S	8TB × 2
NESCNO10T02SANDW6S	10TB × 2
NESCNO16T02SANDW6S	16TB × 2

Ness1100 Windows Server IoT 2019 for Storage Workgroup 搭載モデル

型番	容量
NESBN002T02SANDW9W NESCNO02T02SANDW9W	2TB × 2
NESBN004T02SANDW9W NESCNO04T02SANDW9W	4TB × 2
NESBN008T02SANDW9W NESCNO08T02SANDW9W	8TB × 2
NESBN010T02SANDW9W NESCNO10T02SANDW9W	10TB × 2
NESBN016T02SANDW9W NESCNO16T02SANDW9W	16TB × 2

Ness1100 iX 搭載モデル

型番	容量
NESBN002T02SANDIX1	2TB × 2
NESBN004T02SANDIX1	4TB × 2
NESBN008T02SANDIX1	8TB × 2
NESBN010T02SANDIX1	10TB × 2
NESBN016T02SANDIX1	16TB × 2

Ness1200 Windows Server IoT 2022 for Storage Workgroup 搭載モデル

型番	容量
NETAN002T02SANDW2W	2TB × 2
NETAN004T02SANDW2W	4TB × 2
NETAN008T02SANDW2W	8TB × 2
NETAN016T02SANDW2W	16TB × 2
NETAN020T02SANDW2W	20TB × 2

Ness1200 Windows Server 2022 Standard 搭載モデル

型番	容量
NETAX002T02SASDW216G	2TB × 2
NETAX004T02SASDW216G	4TB × 2
NETAX008T02SASDW216G	8TB × 2
NETAX016T02SASDW216G	16TB × 2
NETAX020T02SASDW216G	20TB × 2

※メモリ 16GB 搭載

Ness1200 Windows 10 IoT Enterprise LTSC 2021 搭載モデル

型番	容量
NETAN002T02SANDW1I	2TB × 2
NETAN004T02SANDW1I	4TB × 2
NETAN008T02SANDW1I	8TB × 2
NETAN016T02SANDW1I	16TB × 2
NETAN020T02SANDW1I	20TB × 2

株式会社ニューテック

〒105-0013

東京都港区浜松町 2 丁目 7-19 KDX 浜松町ビル

<https://www.newtech.co.jp>

Copyright© 2024, Newtech Co., Ltd. All rights reserved.